

**第79回国民スポーツ大会 中国ブロック大会 ハンドボール競技
競 技 上 の 注 意**

<代表者会議>

【日 時】 2025年8月22日（金）15時 【場 所】 J: COM アリーナ下関 多目的室

1. 競技規則、チーム構成

- ① 当大会は、2025年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則によって実施する。なお、「2025競技規則変更(2025年7月1日 IHF施行)について」(2025年6月1日 日本ハンドボール協会通知)は採用する。
- ② 試合への参加はチーム役員4名以内、選手14名以内の計18名以内とし、臨時トレーナー1名は別途認める。なお、臨時トレーナーは有資格者であること。

2. 競技会場・コート大きさ、競技時間

① コート

競 技 会 場	J: COM アリーナ下関（下関市総合体育館）
コートの大きさ	40m×20m（A・B・Cコート）

- ② 競技時間は、全試合 30分ー10分（休憩）ー30分とする。
- ③ 開館時間は、両日とも8時00分とする。

3. 競技方法等

種別	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
競技方法	トーナメント	トーナメント	リーグ	トーナメント

- ① トーナメント戦で、正規の競技時間が終了したときに同点の場合は、第1延長戦・第2延長戦まで行い、それでもなお同点の場合は7mTC（5人制）を行う。
- ② リーグ戦での延長戦は行わない。
なお、リーグ戦の順位決定については、次のとおりとする。
 - (1) 順位決定はポイント方式（勝：3点、引分け：1点、負：0点）による。
 - (2) 勝点が同点の場合は、次のa～dの順序で順位を決定する。
 - a 得失点差の多いチームを上位とする。
 - b 総得点数の多いチームを上位とする。
 - c 同点チーム間での対戦結果の勝ちチームを上位とする。
 - d 抽選で順位決定を行う。

4. 競技時間・退場（失格）者の表示、終了・チームタイムアウトの合図等

競技時間の表示	電光公示時計
表示方法（加算・減算）	競技時間（加算式）・ハーフタイム（減算式）
退場（失格）者の表示	A・Bコート：退場者タイマー（減算式） Cコート：退場者カード
終了の合図	ホーンまたはブザー
チームタイムアウトの合図	ホーンまたは（電子）ホイッスル
負傷者カード	記録席での掲示

※ 退場者の入場に関しては、チームで責任をもって行うこと。

5. 大会使用球

大会使用球は、(公財)日本ハンドボール協会検定球のモルテン社製とする。
成年はA5000、少年はA4000を使用する。

6. 選手・役員の変更、臨時トレーナー、正誤表の提出

- ① チーム役員・選手の変更・追加は、8月21日（木）までに正規の手続きを踏むこと。
チーム役員の記号は監督を「A」、他の役員をプログラム順に「B・C・D」とする。
- ② チーム役員以外のトレーナーについては、代表者会議で申し出て承諾を得ること。
- ③ プログラムの選手・役員名簿の記載に誤りがある場合には、代表者会議後、正誤表に記入して大会本部に申し出る。誤りがない場合にも正誤表に「なし」と記載して正誤表を提出すること。

7. トスの実施、ユニフォームの確認とチーム役員の服、チーム役員・選手登録証の提出

- ① トスの実施、ユニフォームの確認はそのコートのオフィシャル席前で、第1試合は競技開始30分前に、それ以外については前の試合のハーフタイムに行う。その際、チーム代表者はGKとCPの全ての種類のユニフォーム（濃淡・番号が明瞭に識別できるもの）を持参すること。調整がつかない場合は、チーム番号の大きいチームが変更すること。なお、チーム役員は、スポーツウェアか平服を着用する。着用する服は相手チームのコ

ートプレーヤーと、はっきり区別できる色であること。

- ② 服装や装具については、2025年度の「服装や保護を目的とした装具に関する規定」に準ずる。
- ③ チーム代表者は、2025年度チーム役員・選手登録証をMO・TDに提出すること。
- ④ メンバー表の提出は不要である。

8. 出場メンバー

役員・選手名簿に記載されたチーム役員・選手だけが公式記録用紙に記載され、競技に参加することができる。代表者会議で認められたチーム役員以外のトレーナー等については、交代地域外に設置された椅子に着席する。

9. 公式記録用紙の確認、チーム役員用カードの着用

- ① 試合開始10分前までに監督は、チーム役員の氏名・記号および選手の氏名・番号が公式記録用紙に正しく記載されていること、および、自チームのすべてのプレーヤーが、正しい服装や装具を身に着けていることを確認し、サインすること。
- ② チーム役員は、オフィシャル席に用意してある「チーム役員用カード」を着用すること。カードAは監督が、カードB・C・Dは他の役員が着用し、記録用紙に記載された記号と同一であること。試合終了時にはオフィシャルへ返却すること。

10. 松ヤニ・松ヤニスプレー等の使用

- ① 当大会は両面テープのみ使用可とする。
- ② 松ヤニ、松ヤニスプレー、すべり止め用クリーム・樹脂等の使用は厳禁とする。

11. 更衣、練習会場、二足制の遵守

- ① ユニフォーム等の着替えは、更衣室を利用すること。密にならないよう各チームで協力すること。また、更衣室には絶対に荷物や貴重品を置いたままにしないこと。
- ② 練習会場として、第1日目第3試合以降および、第2日目第2試合以降はCコートを利用することができる。ただし、ゴールはない。各チームで譲り合って利用すること。
- ③ 屋外でウォーミングアップをする際は、屋外用シューズに履き替えること。屋内・外兼用は厳禁とする。また、体育館周辺、駐車場でのボールの使用は厳禁とする。

12. コート練習、フロアへの入場

- ① コートでの練習は、第1試合のチームは試合前、第2試合以降のチームは、前試合のハーフタイムならびに試合間とする。なお、コートでの練習は松ヤニ等の付着していないボールを使用し、屋外ボールの持ち込み・使用は禁止とする。
- ② 第2試合以降のチームのフロアへの入場は前の試合の終了5分前以後とし、試合の妨げにならないよう静かに待機すること。

13. 交代地域での飲料水の補給

ストロー付または完全にフタのできる飲み口の細い容器を使用し、シート・フロアを濡らすことのないよう注意すること。

14. マッチオフィシャル(MO)、テクニカルデレゲート(TD)、裁定委員会

- ① 当大会では、円滑な競技運営のためにマッチオフィシャル・テクニカルデレゲートをおく。
- ② 当大会の競技の健全化を図り、失格(3回目の退場による場合は除く)の判定とともにブルーカードが示された場合、また、試合中以外でも悪質なマナー違反や禁止事項が遵守できないなど、裁定委員会の開催が必要であると競技委員長・審判長などが判断した場合には、裁定委員会を開催する。
- ③ 裁定委員会の委員は、競技委員長・競技副委員長・審判長・副審判長とし、必要に応じて当該のマッチオフィシャル・テクニカルデレゲート・審判員・チーム役員等の関係者を同席させる。

15. その他

(公財) 日本ハンドボール協会HP「2025年度競技規則 改訂版(2025/7/2)」を参照のこと。